

防災訓練を通じた防災監への再就職の意識 ～防災監インターシップ～

自衛隊札幌地方協力本部は、令和5年10月1日（日）に長沼町役場の協力を得て、長沼町総合公園にて定年制インターンシップ（防災訓練）を実施しました。

防災監は、長年培った防災・危機管理教育に関する優れた経験・知識・技能を有し、災害時における危機管理対処を専門とする担当者であり、自衛隊札幌地方協力本部管内で64市町村がある中、28市町村で採用されています。

本防災訓練は、「水防訓練（土のう作成、シート張り）」、「高齢者等避難訓練」「炊出訓練」の3部構成により、陸上自衛隊、航空自衛隊、消防団、長沼町役場等の相互連携を確認・演練することを狙いとしたものであり、すべて政策推進課防災対策官（自衛隊OB）が企画したものです。

また、担当者との懇談、防災拠点となる施設見学を実施し、長沼町関係職員の防災に対する意識の高さと、防災監に対する期待の大きさが伺えました。

参加隊員1名は、自衛隊でのこれまでの経験に加え、各地域の人々、企業、関係団体との親密な関係を築く大切さを感じており、今後の再就職に役立てたいと抱負を述べていました。

今後も札幌地方協力本部は、退職予定隊員が適切に再就職先を選択できるよう多くの職種において定年制インターンシップを実施するため更なる計画、調整を進めていきます。



長沼町役場職員による
概要説明を受ける参加隊員



消防団による土のう作成研修



消防団による水防工法研修



避難所の構成要領研修